

153名の受講者を迎え、令和6年度(2024年度)公立学校初任者研修・新規採用者研修が開講しました。豊能地区(豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町)は、政令指定都市を除くと、全国で初めて人事権の移譲を受けた市町です。豊能地区の子どもたちのために、みなさんと研修を通じて共に学びあえることをうれしく思います。この初任研通信は、当協議会の研修に関する情報発信ツールです。みなさんの学びの一助になるような通信をめざしていきますので、是非、ご一読いただければと思います。

☆先輩からのメッセージ☆

昨年度、初任者研修・新規採用者研修を受けていた先輩たちからの温かいメッセージです。

*メッセージ内容は一部割愛して掲載しています。(全文はWebサイトに掲載)

授業作成、学級経営、校務分掌など、初めてのことがたくさんある1年だと思います。しかし、周りには先輩や管理職、同期などたくさんの方がいます。**少しでも気になること、わからないことがあるとすぐに聞くこと、相談することがすごく大切です。**また、自分ができていると思った時も「こんな感じで今進めているのですが…」と話すことで、もっといい方法を教えていただけます。私は、別業種で働いた後、講師を経て教員になったため年下の先輩がたくさんいます。私と同じ、似ている境遇の方は特に変なプライドを持ったり、恥ずかしがったりせずどんどん聞いてください。

この一年間に今までの人生で経験できないことがたくさん起こりましたが、その一つ一つが自分を育ててくれたと思います。大切な事は、まず、実践してみることにしたいと思います。工夫すれば、子どもたちはどんどんついてきてくれます。思いもかけないような「素敵な発言」をしてくれることもあります。**先生という仕事の素晴らしいところは、子どもとともに自分が成長できること**です。

始めは、分からない事ばかりでとても不安だと思います。授業作りや学級作り、生徒指導など学ぶ事はたくさんありますが、「この場合はこうする」、「このパターンはこれでいけるだろう」と決まった答えを学ぶのではなく、「どのように考えて行動するか」がとても大切だと私は感じました。常に人対人の関わりなので、**目の前の生徒がどうなってほしいのか、今のクラスにどう成長してほしいのか**、現状をしっかりと見て考え、自分の気持ちを生徒にも伝えるように心がけていました。

「養護教諭は一人ではありません。**職種は違っても、校内には、一緒に悩み、一緒に考えてくれる仲間がいます。**そして、全国には、同じ養護教諭として働いている仲間がたくさんいます。私も仲間の一人です。一緒にがんばりましょう。」1年前に開講式でいただいたお言葉です。私はこのお話を聞いて、とても気持ちが軽くなりました。日々、悩むこともありますが、誰かに話すことで、他の先生の考え方を学ぶことができ、自身の成長にも繋がっていると感じています。

学校事務職員の仕事は多岐に渡っていて、市から配当される予算を計画的に執行したり、教職員の給与に関わる業務をしたり、給食の食数を報告したりと様々です。忙しい時期が続くこともありますが、子どもたちの元気な声が聞こえてくると、自分も元気をもらえるし癒されます。

少数職種のため、心細い気持ちになることもあると思いますが、話を聞いてくれる同期や助けてくれる先輩事務職員がいます。**無理はせず、健康第一で一緒に頑張っていきましょう。**